

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ]

2022 03

特別版

『Biz Life Style』は東京、関西、仙台、福岡、
にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。
www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041
www.dac-group.co.jp/

企画・制作/株式会社デイリー・インフォメーション中部
〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル6F
© 2022 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD



今後、 医学部入試はどう変わる？

「新入試制度」と「新型コロナウイルス」がもたらす、 医学部受験への影響とは？

困難を極めた2021年度の 医学部入試

コロナ禍で実施された2021年度入試は、大学入試改革の初年度でもあった。いつの時代も超難関といわれる医学部受験だが、2021年度は新入試制度に加え、新型コロナウイルスという不測の要素も合わさり、今まで以上に困難を極めることとなった。特に地域によっては通常通り授業を行う高等学校や予備校もあったが、都心部では感染者拡大に伴い休校が続くなど、地域間や高等学校間の格差に不安を感じた受験生は多いだろう。また、医学部志望者の動向としては、新型コロナウイルスの対応に追われる医療従事者の姿を見て、医学部志願者が減少するのではという声も一部で囁かれていたが、むしろ、自分も将来は社会貢献をしたいと、医学部・薬学部を志望する生徒が増えた傾向も見られた。

新入試制度と新型コロナウイルスがもたらす医学部入試への影響とは、そしてこれからの医学部入試にはどのような対策が必要なのか。今回は毎年多くの受験生を医学部合格へと導いてきた医系専門予備校メディカルラボとともに、新しい医学部入試とその対策について詳しく検証してみた。

新入試制度がもたらした 医学部受験への変化

まず、センター試験が廃止となり、新たに大学入学共通テストが導入されたことで大学入試はどのように変わったのか。最も大きな変化は大学入試改革により評価要素に主体性(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」といった学力の3要素が多面的・総合的に判断されるようになった点だろう。これまでの大学入試はセンター試験で「知識・技能」を、個別試験で「思考力・判断力・表現力」を測るとされていたが、新しい試験制度では大学入学共通テストでも「思考力・判断力・表現力」が求められるようになり、さらに各大学で実施される個別選抜においても主体性が測られるよう

になった。主体性は面接や調査書をもとに評価されるのだが、医学部においては全大学で面接試験が導入されており、他の学部以上に主体性を重視する傾向にあることが伺い知れる。また、医学部受験の面接試験では内容も多様化しており、一般的な個人面接だけでなく、集団討論や特定のテーマについて自分の考えを説明するMMI(Multiple Mini-Interview)を実施する大学が増えているのも大きな特徴だ。

初年度(昨年)実施された大学入学共通テストでは、過去のセンター試験と比較すると、知識や暗記のみを以て解答できる問題は減り、数学や地理などを中心に、文章解読をしながら、解法を導き出す問題や、写真・グラフなど総合的に資料を読み取って、解答を行うなど、推測・考察する力が求められた。さらに、2022年1月(今年)に実施された大学入学共通テストは2年目という点で難化し、センター試験時を含めて過去最低の平均点となった。日常的な場面設定からの出題や教科書に載っていない資料や実験なども昨年同様出題されたため、本質の理解をし、内容を読み解くことに解答時間に追われた受験生も多かっただろう。



My Favorite Life Style

医系専門予備校

メディカルラボの合格メソッド

個別カリキュラム

100人の生徒がいれば、学力も志望校も100通りあり、合格へのアプローチも異なります。志望校の合格ラインを踏まえ、苦手科目を効率よく克服し、得意科目をさらに伸ばせるよう一人ひとり内容の異なる個別カリキュラムを作成しています。

プロ講師陣

医学部受験生の指導経験があり、各大学の出題傾向を熟知しているプロ講師陣が指導にあたります。一人の生徒に対して各科目のプロ講師と担任がチームを組み、苦手・得意分野や学力特性を把握したうえで、カリキュラムを管理しています。

1対1の個別授業

すべての授業がプロ講師による1対1の完全個別指導です。1対1の個別授業では学科試験のほか、小論文・面接対策も行っていきます。メディカルラボの1対1個別指導だからこそ効率よく確実に学力を伸ばし思考力・瞬発力を養うことが可能です。

情報収集・分析力

全国28校舎で入手した最新の入試情報を医学部受験のプロが分析し、全校舎の講師・スタッフが情報を共有しています。志望校の選択、各大学に対する徹底した指導、戦略的プランの構築などが可能です。

戦略的対策

生徒一人ひとりの学力特性、得意不得意、志望校に合わせた戦略をプランニングします。教科・科目ごとに戦略を変え、さらに生徒の特性と合う大学を戦略的に選定する「マッチング指導」を実施することで合格の可能性を引き上げます。

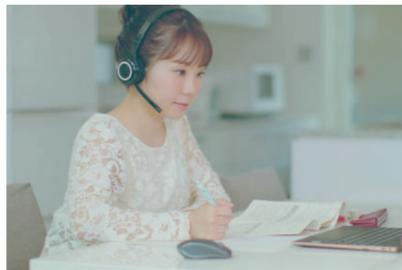
学びのサポート

生徒一人ひとりに個別担任がつき、月1回の面談やカリキュラムの修正、志望校選びなど、あらゆる面から学びをサポートします。また、個別ブースの自習室や登下校管理システムなど、学びをサポートするための設備も充実しています。



充実した学習環境&システム

[双方向のオンライン授業]



通学が難しい生徒のためにオンライン授業も行っていきます。オンライン授業も1対1で行うため、対面と同じクオリティの授業を自宅ですることができます。

[個別ブースの自習室]



学習に集中できる個別ブースの自習室は、朝9時～夜10時まで年中無休で利用可能です。

[学生寮完備]



遠方の生徒も学習に専念できるよう、学生寮をご用意。生活に必要な家具類は備え付けてあり、栄養バランスのとれた手作りの食事も提供しています。

「メディカルラボは全国28ヶ所に校舎を構える医系専門予備校である。2006年に第一号校舎となる名古屋校を開校して以来、毎年多くの受験生を医学部合格へと導いており、2021年度には医学部1,289名、歯学部183名を合わせて1,472名の合格者を輩出している。

「メディカルラボがこれほど多くの合格者を輩出しているのは、独自に構築した合格メソッドがあるから。まず、メディカルラボの学習指導は「完全個別主義」という考えのもと、生徒一人ひとりの志望校や学力に合わせて個別カリキュラムを作成することから始まる。限られた期間で効率的に、医学部合格へ導くための学習計画が「メディカルラボの個別カリキュラム」であり、個別カリキュラムは学力診断テストと面談を行った上で作成されるのだが、一人ひとりの課題を明確化することで合格への最短ルートを進ませることができるといいます。

また最大のポイントとして医学部受験に精通したプロ講師による「マンツーマンの完全個別指導」である。経験豊かなプロ講師による授業は、生徒の個性・習熟度を見極めながら、確実に志望校合格へ導きます。マンツーマンの授業は無駄なく効率的に学習できるだけでなく、わからないことがあればその場で質問ができ、その生徒の学力レベル・特性に合わせて集中的に指導することで理解度を深め、思考力を必要とする試験にも対応できるようなります。

また、面接・小論文試験対策においても面接・小論文専門のプロ講師がマンツーマンで指導するため、医学部受験生としての考え方や知っておきたい医療ニュースの解説など徹底した対策がとれている。

そして、学習指導の他に「メディカルラボの強みとして挙げられるのが戦略的対策である。メディカルラボでは生徒一人ひとりに担任がつき、各科目の講師と連携を取りながら志望校選びを戦略的にサポートしている「マッチング指導」。全国28校舎のネットワークを活かして情報収集を行い、各大学の出題傾向を詳細に分析し、データと生徒の学力特性を照らし合わせ、合格に最も近い大学を見つけていくのである。また面接対策は、実際に医学部を受験した全国のメディカルラボ生徒による「受験レポート」を活用することで、大学の出題内容を把握し、受験対策に役立てているといえる。

これからの医学部受験には何が必要になるのか?

カリスマ講師が分析!



新入試制度の影響によって、今後はあらゆる試験において、より高度な思考力が求められるようになり、面接試験の難易度もより一層高まっています。これからの医学部受験は知識量だけでは決して勝ち抜くことはできません。また、医学部の定員はこの先、減少することが予想され、医学部合格を勝ち取る戦いはより熾烈になっていくでしょう。

医系専門予備校メディカルラボ 本部教務統括 可児良友(かにかよしみと)

1991年から大手予備校で受験生の指導に携わり、数多くの医学部・歯学部志望者に合格に導く。その豊富な経験をもとに、マンツーマン授業で合格を確実にする医学部受験の指導メソッドを構築。2006年に医系専門予備校メディカルラボの開校責任者となる。カリキュラムの監修や講師・スタッフを統括する本部教務統括として、また生物の講師として、現在も医学部受験の最前線で活躍中。各地で医学部受験をテーマに講演を行い、近年はテレビ等のマスメディア出演も多数。

point 01 思考力と瞬発力

大学入学共通テストはもちろん、国公立大学の独自の試験においても高度な記述式問題が出題されるなど、あらゆる試験が思考力をより重視する内容へ変わっていくことが予想されます。知識に対する理解を深めると共に、必要な知識をいつでも引き出せる瞬発力が求められるようになります。

point 02 戦略的な受験校選び

問題の出題傾向、難易度、分量、出題形式(マーク・記述)、面接形式などは、大学によって大きく異なります。一般的な偏差値レベルではなく、一人ひとりの学力特性や得意・不得意に合わせて合格の可能性が高い大学を選定し、出題傾向に沿った学習を戦略的に行う必要があります。

point 03 綿密な面接対策

面接試験の内容は多様化しており、個別面接、集団討論、MMI(Multiple Mini Interview)、プレゼンテーションなど、大学によってそれぞれ形式が異なります。どれだけ学科の成績が良くても適性がないと判断されれば、落とされることもあり、綿密な対策が必要不可欠です。

中部圏の各大学における面接試験のポイント

名古屋大学(学校推薦型選抜)	名古屋市立大学	藤田医科大学	愛知医科大学
<p>ホワイトボードを使ったプレゼンテーション</p> <p>個人面接では医学研究に関する英文設問の解答とホワイトボードを使用しながら10分間のプレゼンテーションを行うなど、医学・医療への関心の高さや表現力など多様性が求められます。</p>	<p>学科の失敗をリカバリできるほど、面接を重視</p> <p>過去の一般選抜面接は集団討論1回のみでしたが、現在は集団討論に加え、英語で志望理由を答えるなどの個別面接も行われるようになり、面接回数が増え、より人物評価を意識した試験となっている。学科試験を失敗しても面接でリカバリできるほど、面接試験が重要視されています。</p>	<p>「判断力」や「論理的思考力」を問われるMMI形式の面接試験</p> <p>面接に力を入れている大学として知られており、「このような場面では医師としてどのように行動するか?」などの質問が出される傾向にあります。提示された時間の中でプレゼンテーション形式で発表していくため、藤田医科大学のMMIに特化した事前準備や練習が必要とされています。</p>	<p>一筋縄ではいかない、ひねりのある質問が特徴</p> <p>全国的に見ても面接時間が比較的長く、ひねりのある質問が出される傾向にあります。一問一答形式ではなく返答した内容がさらに掘り下げて質問されるため、圧迫感を感じることもあります。あらゆる質問を想定し、自分の考えをまとも論理的に説明できる力を身につける必要があります。</p>

では、これからの医学部受験には何が必要になるのだろうか。メディカルラボで本部教務統括を務める可児先生によると、学科試験においては今以上に思考力と瞬発力が求められるようになるという。

大学入学共通テストで思考力や判断力が測られるようになったのは前述の通りだがその流れを受け、各国立大学独自の試験も高度な記述式問題を出題するなど、思考力・判断力・表現力をより重視する内容へと変わっていく傾向にあるという。従来のセンター試験のように「知識・技能」だけでなく求められる問題であれば、学習方法や理解度が多少異なっても量さえこなせば何とか対応できてしまうが、「思考力・判断力・表現力」が求められる記述式問題の場合にはそうはいかない。「知識・技能」をしっかりと理解した上で、どう問題へ活用するかが重要になり、ただ丸暗記した知識だけではまったく使えないものにならないのである。大切なのは知識の質であり、さらに蓄積した知識をいつでも瞬時に引き出せる瞬発力も必要になってくるという。

そして、これからの医学部受験に必要な可児先生が面接対策である。面接試験は大学によって形式や内容がまったく異なり、個人面接が追加実施されている。この個人面接では「レベル生理学・医学賞について知っていることや医療現場でのAIの活躍についてなど、医療ニュースをはじめ社会的視点を受験生に求める質問が多い。藤田医科大学ではMMIが導入されており、通常の面接とは異なる準備や練習が必要とされている。愛知医科大学は個別面接の形式で行われるが、面接試験の時間が長いことで知られており、「誠実とは?」「必要悪とは?」など、事前に予想するのが難しい質問を投げかけられることが多い。

医学部受験の試験は大学ごとに、それぞれ個性がある。面接試験の内容は多岐にわたる。思考力や判断力の測り方も大学によって異なるため、各大学の出題傾向を詳細に分析しながら対策し、より自身にとって合格の可能性が高い大学を戦略的に選ぶ必要がある。医学部受験を勝ち抜くためには、毎年更新される最新の入試情報の収集や、正しい情報に基づいた分析と、その情報を活かした学習が必要となるだろう。

My Favorite Life Style

個別学校説明会 ※参加を希望される場合は あらかじめご予約をお願いします。

メディカルラボ名古屋校 個別学校説明会 ※オンライン対応可

メディカルラボについて、詳しく知りたい方を対象にした学校説明会

日程 **3/24(木) 3/26(土) 3/31(木)**
4/3(日) 4/7(木)

午前の部 **11:00~** 午後の部 **15:00~**

※寮見学をご希望の方はご予約時にお申し付け下さい。

会場 **メディカルラボ名古屋校**

(名古屋ビルディング7F)

- 内容
- 1.授業システムや学費
 - 2.医学部入試の現状や合格するための勉強法
 - 3.進路や勉強法についてのご相談
 - 4.校舎見学



参加申し込みはこちらから!

**新年度開講!2022年4月11日(月)~
 新年度生募集中!**



2022年度 医学部入試速報分析会 ※参加を希望される場合は あらかじめご予約をお願いします。

参加無料

最新の入試結果をもとに“医学部入試速報分析会”を開催します! ※オンライン視聴あり

日程 **3/27(日) 14:00~**
(約90分)

会場 **ウインクあいち**
(愛知県産業労働センター)

- 内容
- 1.大学入学共通テストと各大学の志願者数からみる2022年度医学部入試の動向を速報!
 - 2.国公立大2次試験と私立大個別試験のポイントを解説!
 - 3.重要性が増す医学部の面接試験。今年度はどのように実施されたか?



参加申し込みはこちらから!

【参加特典】イベント資料「2022年度 医学部入試速報分析会」(メディカルラボ編 非売品) を無料でプレゼント!

【オンライン視聴について】オンラインでのライブ配信も予定しております。オンライン視聴を希望される方は、当日視聴に必要となるURL・ID・パスワードを送信しますので、申込フォームに必ずメールアドレスをご入力いただき、備考欄に「オンライン視聴希望」とご入力ください。

[メディカルラボ名古屋校 2021年度合格実績]

医学部医学科合格者数 **183名**

名古屋校1校のみの合格者数です

名古屋大学	2名	三重大学	4名
名古屋市立大学	9名	藤田医科大学	36名
岐阜大学	7名	愛知医科大学	47名
		他	

これからの医学部受験には戦略的な志望校選びと受験校に合わせた綿密な対策が不可欠である。偏差値だけで合格可能性を判断してはならず、入試で求められることも難しくなっているため、最短で医学部合格を勝ち取りたいのなら、やはり医系専門予備校に通うことをお勧めしたい。前述の通りメディカルラボは、個別カリキュラムや一对一の個別授業、プロ講師陣による指導、戦略的対策、情報収集・分析力など、お薦めしたくなる理由がいくつもあるが、すべては合格実績が物語っている。

特にメディカルラボ名古屋校は全国28ヶ所に展開している校舎のなかで本校として位置づけられており、2021年度は名古屋校だけで183名の合格者を輩出している実力校だ。他の校舎と比べて歴史が長いため、地元の医学部に関する情報や対策には絶対的な自信

があり、名古屋校1校舎のみで国立大学35名、藤田医科大学には36名、愛知医科大学には47名の生徒が合格しているのだから。全国の医学部情報を収集・分析しているため、他エリアの大学においても高い合格率を誇っているが、地元の医学部進学を目指すのならメディカルラボを選ばない理由はないだろう。

メディカルラボ名古屋校では、学校説明会や、医学部受験に関する講演会等の各種イベントを開催している。これらのイベントではメディカルラボ名古屋校の情報はもちろん、医学部受験の最新情報や合格するためのポイント等をわかりやすく解説してもらえ、これからの予備校選びを始める方はぜひ参加してみたいかがだろう。

無料
 プレゼント

ビズスタ読者限定特典

~6944人を合格させたカリスマ講師が教える~

「医学部受験を決めたらまず読む本」を謹呈
 可児良友著 時事通信社刊 1,650円(税込)

※問い合わせ電話番号より、資料請求の際に、「ビズスタを見た」と仰っていただくか、ホームページより資料請求画面「その他ご意見・ご質問」欄に「ビズスタを見た」と明記下さい。

※受付メ切:2022年3月31日



河合塾グループ 医系専門予備校 **メディカルラボ。名古屋校**

資料請求・お問い合わせ

フリーダイヤル **0120-456-837** ※年中無休 (9:00~22:00)

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-6-17 名古屋ビルディング7F

<https://www.medical-labo.com/>

※右記二次元コードからもホームページをご覧いただけます。



名古屋ビルディング



JR、地下鉄、名鉄、近鉄「名古屋駅」より徒歩2分
 (名古屋駅より地下街にて直結)